2026 年 10 月 15 日

各 位

株式会社 りそなホールディングス
株式会社 ジ ェ ー シ ー ビ ー

株式会社りそなホールディングスと株式会社ジェーシービーの資本業務提携契約の締結について

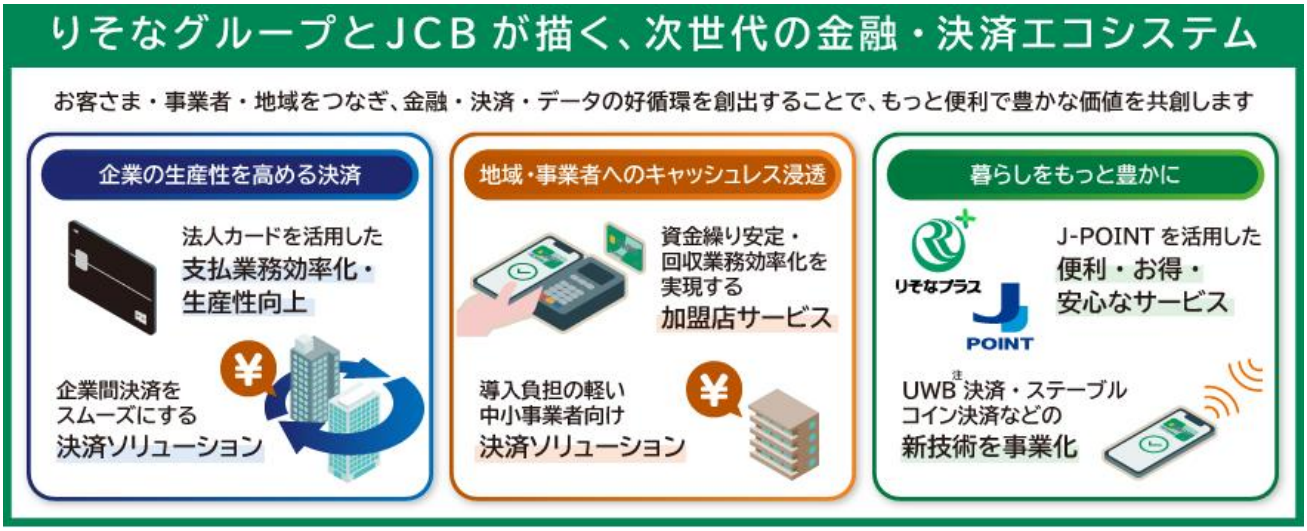
株式会社りそなホールディングス(社長 南 昌宏)と、株式会社ジェーシービー(代表取締役会長兼執行役員社長 二重 孝好、以下「JCB」)は、これまでの協業をさらに深化させ、両社の取り組みを継続的に推進するため、本日、資本業務提携契約を締結いたしました。りそなホールディングスは JCB の発行済株式の 2.24%を既存株主から 11 月中旬頃に取得する予定です。なお、本件株式取得により、りそなグループの JCB 株式保有割合は 5.27%となります。

1.背景・目的

キャッシュレス決済の進展やデジタル技術の発展により、お客さまが求める金融サービスは大きく変化しています。法人のお客さまにおいては支払・回収業務の効率化や資金管理の高度化、個人のお客さまにおいては日常生活に溶け込んだシームレスで利便性の高いサービスへの期待が高まっています。

こうした環境変化を踏まえ、両社は、JCB が有する日本発唯一の国際カードブランドとしての決済ネットワークや加盟店基盤および決済ソリューションに関する知見と、りそなグループが有する金融機能や法人・個人のお客さまとの接点、地域に根差したネットワークを融合することで、金融と決済の枠を越えた新たな価値の創出を目指します。

イメージ図



注 超広帯域無線通信技術の略称で、非常に広い周波数帯域を使用する無線通信技術。短時間のパルス信号を用いて高精度な位置測位や近距離での 高速通信を実現。主な特徴としては「広い帯域幅」、「高精度な位置測位」、「低消費電力」

2.資本業務提携により目指すもの

(1)企業の生産性を高める決済サービスの提供拡大

法人カードや企業間決済領域におけるサービスの拡充を通じて、企業における決済業務の効率化や資金管理の高度化を支援します。両社の強みを活かし、決済と金融をシームレスに連携させることで、企業の生産性向上や事業成長に貢献するサービスの提供を目指します。

(2)地域・事業者へのキャッシュレス浸透

両社が有する顧客基盤や加盟店ネットワークを活用し、地域や日常生活のさまざまな場面で、より便利で安全・安心な決済体験を提供します。単なる決済手段にとどめず、地域のお客さまと事業者を金融

サービスにつなぐ接点として活用し、新たなサービスや利用体験の創出に取り組みます。

(3)暮らしをもっと豊かにする新たなサービスの創出

両社が有する決済・金融分野の知見やデータ、デジタル技術を活用し、お客さまのニーズや生活行動に寄り添った商品・サービスの創出に取り組みます。個人のお客さまには日常生活をより便利にするサービスに取り組むとともに、法人のお客さまの事業活動や経営判断を支えるソリューションを提供してまいります。

3. これまでの協業と今後の展開

今回の資本業務提携は、両社がこれまで積み重ねてきた協業をさらに発展させるものです。両社は、2014 年のりそなクレジットカード〈クラブポイントプラス〉JCB での協業に加え、2024 年の法人決済分野における業務提携を通じて、法人領域や次世代決済領域などで連携を深めてきました。
本提携を新たな出発点として、金融と決済の両分野における両社の強みを活かした新たなサービスや事業機会の創出に取り組みます。お客さまの利便性向上や事業成長の支援を通じて、地域・社会への新たな価値の提供を目指します。

イメージ図

以 上